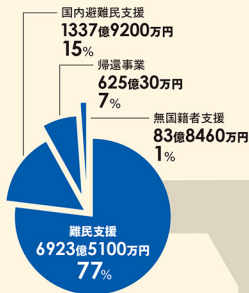


全世界の支援対象者数＝約7144万人
必要総予算＝9707億8300万円



2019年も厳しい資金不足が予測されます

支援対象者の大幅増加を受けてより多くの活動資金が必要とされる中、2018年は活動資金の調達率が50%を下回る見込みです。

2018年度必要総予算＝9288億6000万円
2018年度調達見込み＝4332億4200万円

2018年度 調達率 **47%** (2018年10月時点)
(1米ドル＝113円換算)

活動国＝約135カ国
事務所＝517カ所
職員＝約1万2000人

アメリカ

991万7124人(前年比↑+91万8980人)

2018年、中南米各地では、治安の悪化や人権侵害、貧困を理由に膨大な数の人々が祖国を離れ、近隣諸国に保護を求めました。中でも深刻化しているのは、1日に平均5000人が国外に逃れ、その総数が300万人に達したとされるベネズエラです。エルサルバドルとホンジュラスなど中米からの難民・庇護申請者の数も30万人を突破。流動的な状況下、大きな負担を強いられる周辺国の政府や関係機関と連携しながら、柔軟な対応が求められています。



「息子の命が動かしにはベネズエラを出るしかありませんでした。」
ヘルレーに避難したジャミレスさん(28歳)と、息子のジュリオさん(4歳)と病気の息子のステイファンちゃん。

活動予算配分 トップ3

- ① 保護環境の改善 **20%**
- ② 命を守る基本的援助 **16%**
- ③ 公正な保護手続きと情報管理 **15%**

UNHCRの難民援助活動2019

～UNHCR年次報告書「グローバル・アピール2019」(2018年11月発表)より～

年初にあたり、UNHCRの公式文書『グローバル・アピール2019』より2019年のUNHCRの難民援助活動計画についてお伝えします。

北アメリカ・カリブ海
110万3339人

南アメリカ
881万3785人

東ヨーロッパ
677万5751人

中央アジア
11万3174人

中近東
1593万2402人

南東ヨーロッパ
43万8599人

北アフリカ
85万1417人

西アフリカ
359万887人

東アフリカ
1240万8485人

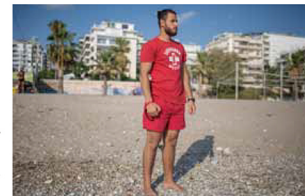
中部アフリカ
768万6805人

南アフリカ
52万7027人

ヨーロッパ

1106万117人
(前年比↑+80万1996人)

トルコで暮らす390万人(大半はシリア人)を含め、昨年末の時点で520万人の難民を保護しているヨーロッパ。中東やアフリカからヨーロッパを目指す人々は後を絶ちません。UNHCRは、危険を冒して地中海を渡る難民の上陸地(スペイン、ギリシャ、イタリア)での受け入れ態勢の整備や、一部の国で差別にさらされている難民の安全確保に尽力します。軍事紛争が150万人の国内避難民を生んだウクライナでも緊張が高まっており、予断を許しません。



シリア難民のイーボウさん(23歳)は2017年夏、トルコからギリシャに向かう船が難破して救助されました。今はギリシャでレスキューボランティアとして人命救助活動に関わっています。

活動予算配分 トップ3

- ① 公正な保護手続きと情報管理 **38%**
- ② 命を守る基本的援助 **30%**
- ③ 難民の地位向上・自立支援 **10%**

アジア／太平洋諸国

946万5242人(前年比↓-3万7693人)

本年度予算配分が11%アップしたアジア／太平洋諸国での活動の焦点は、引き続きアフガニスタンとミャンマーからの難民の援助です。特にバングラデシュに避難するミャンマーのロヒンギャの人々は、2019年中に90万人に達すると見られ、過密状態にあるキャンプの環境改善などが急務。そして、40年にわたって難民問題と向き合うアフガニスタンでは紛争が再び激化し、イランやパキスタンで暮らす240万人と、国内で避難する190万人の帰還を阻んでいます。

活動予算配分 トップ3

- ① 命を守る基本的援助 **53%**
- ② 難民の地位向上・自立支援 **12%**
- ③ 恒久的な解決 **11%**



幼い二人の子どもを連れてミャンマーからバングラデシュに命をかけて避難してきたばかりのロヒンギャ族の若いご夫婦、アラムさん(19歳)とカトツンさん(18歳)。

UNHCRの地域別支援対象者数

支援対象者数は2018年1月現在のデータ。
難民、国内避難民、庇護申請者、無国籍者などを含みます。

アフリカ

2421万3204人(前年比↑+403万2907人)

軍事紛争から気候変動まで様々な要因がUNHCRの活動を困難にしているアフリカ。特にサハラ以南の地域は依然として、世界でも難民の数が最も集中している場所。内戦が続いた南スーダンでは、2018年9月の和平協定調印で今後の政情の安定が期待できる一方、中央アフリカ共和国とコンゴ民主共和国は状況悪化の可能性をはらんでいます。積極的に避難民を受け入れているチャドやエチオピアなど周辺国で、引き続き大規模な援助活動が展開されます。



カメルーンで起きている分断独立派と政府軍の紛争から逃れ、ナイジェリア南東部で暮らす女の子。

活動予算配分 トップ3

- ① 命を守る基本的援助 **50%**
- ② 難民の地位向上・自立支援 **12%**
- ③ 物流・活動の後方支援 **11%**

中近東／北アフリカ

1678万3819人(前年比↓-202万6522人)

UNHCRは総活動予算の32%を中近東・北アフリカに費やして、主にシリア、イラク、イエメンからの難民・国内避難民を支援します。うち560万人に及ぶシリア人難民については、緊急事態に備えつつ、治安が回復した場所への帰還を進めており、イラクでも帰還が本格化しています。一方、内戦の終わりが見えない中で、難民増加が危惧されているのがイエメン。地域全体に及ぶ不安定な状況は、周辺の難民を受け入れ国の経済や社会にも甚大な影響を及ぼしています。



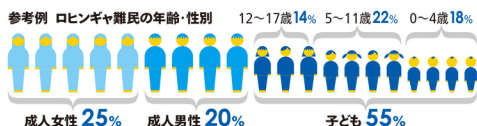
シリア・アレppoの郊外の村に帰還したサマさんは子育て中のお母さん。UNHCRの支援で家畜を飼い、自立することができました。

活動予算配分 トップ3

- ① 命を守る基本的援助 **69%**
- ② 難民の地位向上・自立支援 **8%**
- ③ 物流・活動の後方支援 **5%**

様々な数字で知る「難民」

～UNHCR年次報告書「グローバル・トレンドズ2017」(2018年6月発表)より～



※2017年末時点/ここでは成人＝18歳以上となっています

難民のうち18歳未満の子どもの割合

52%

保護者と離ればなれになってしまった子ども
17万3800人

難民の主な出身国上位5カ国

※この5カ国で全体の68%

- 1 シリア **630万人**
- 2 アフガニスタン **260万人**
- 3 南スーダン **240万人**
- 4 ミャンマー **120万人**
- 5 ソマリア **98万6400人**

難民受け入れ国上位5カ国

※受け入れ国の85%が開発途上国

- 1 トルコ **350万人**
- 2 パキスタン **140万人**
- 3 ウガンダ **140万人**
- 4 レバノン **99万8600人**
- 5 イラン **97万9400人**

祖国に帰還した難民数

66万7400人

- 1 ナイジェリア **28万2800人**
- 2 中央アフリカ共和国 **7万8600人**
- 3 シリア **7万7200人**

第三国定住が許可された数

10万2800人

第三国定住：祖国に戻ることも避難先の国に定住することもできない難民を別の国(第三国)が受け入れるという解決策のひとつ。

皆様のご支援はUNHCRを通して難民に届いています

～UNHCR年次報告書「グローバル・レポート2017」(2018年6月発表)より～

2017年のUNHCRの援助活動の成果の一部を数字でご紹介します

UNHCR
緊急援助出動回数
359回

緊急事態発生から72時間以内に最大60万人へ緊急援助が届けられる態勢を常に準備し、1年間で359回出動、1万670トンの緊急援助物資を難民のもとに届けました。



2017年秋、UNHCRはバングラデシュに緊急避難しているロヒンギャ難民のもとに、専門知識を持つ100名の職員を派遣すると共に、テント、ビニールシート、毛布、食糧などの緊急援助物資およそ1500トン届けました。

UNHCRが健康状態を見守り続けた難民 **470万人**

難民が避難先で医療サービスを受けられるようにする、医療従事者の教育、HIVの予防(母子感染対策含む)、妊婦への支援など、難民の健康状態の改善に努めました。

難民の子どもたちの小学校への就学率 **50%→61%**

難民の子ども達への小学校への就学率を50%から61%へ改善しました。その他、オンライン教育の提供(20か国15万人)、優秀な難民学生たちには、奨学金の提供(6700人)、オンラインによる高等教育の機会提供(3500人)など、様々な形で教育機会の拡充を図りました。

無国籍者の国籍取得 **5万6500人**

無国籍状態におかれていた人が国籍を取得するのを援助しました。国籍があつて初めて仕事・教育・医療など生活に必要な基本的権利を享受することができるようになります。

安全な水・衛生環境の提供 **850万人**

50か国850万人近くに対し、安全な水・衛生環境の提供を行いました。その他、化石燃料ではなく太陽光発電による水汲みポンプシステムの使用拡大などを実施。このシステムはコストを最大3割削減できます。

※2018年の数字は2019年6月に発表予定

ここが知りたい! UNHCR

支援者の皆様からのご質問にお答えします

Q. 寄付はどのように使われているの?

UNHCRへの100円のご寄付の使い途

～2016年のUNHCRの予算・収入・支出からの計算例～



※年度ごとに状況に応じて変動の可能性があります。
※寄付やすすするため、このコーナーのみ1米ドル＝100円換算にしています。

※2018年の数字は2019年6月に発表予定